

現在取り組んでいる学外学習などについての説明があった発足式
＝佐世保市、長崎短大



Awesome Project 社会人基礎力 地域で培う

長崎短大が推進委発足

佐世保市椎木町の長崎短大（安部恵美子学長）で20日、大学や行政、地元住民らが連携して展開する地域密着型学外学習事業「Awesome Project Sasebo! Project」の推進委員会が発足した。地域の職を支える人材を育成する狙い。

同大は、文部科学省の事業認定を受け、来年度から4学期制を導入。1年次

の8～11月に、学生がインターンシップ（就業体験）や留学などで地域に出向いて主体的に学ぶ「長期的学外学習プログラム（ギャップイヤー）」を実施し、社会人基礎力の向上を図る。

発足式で安部学長は「大学は改革の嵐の中にある。地域の発展のため、必要とされる人材を育成したい」と述べた。委員からは「人

口減少が懸念される中、注目される活動だと思っ」「学びの場となる地域側のコーディネートはどのようなようにするのか」「推進委員会の役割は」などの意見が出た。同大が現在、地元企業や商店街などと取り組む地域交流活動、学外学習についての発表もあった。

委員は、同大や佐賀女子短大、市、佐世保青年会議所、町内会長などで構成。年1回ほどの会合で意見交換や成果発表をする。

（永江倫子）